

図書館と サステナビリティ

未来の図書館 研究所
第3回
シンポジウム



塩尻市立図書館（えんぱーく）



©2018 オガール企画合同会社

紫波町図書館（オガール）

図書館は、時空を貫いて人々の知のつながりを支えてきました。

しかし近年、社会変化の大きなうねりのなかにあつて、
図書館の持続性が、確保できるのかが問われる状況にあります。

このシンポジウムでは、人々にそしてコミュニティに
より適切に寄与できる図書館の持続可能性（サステナビリティ）について、
コミュニティ経営と図書館経営の二つの側面から、
二人の有識者をお招きして、考えてみます。

©2018 オガール企画合同会社



講演者・パネリスト

岡崎正信 氏

㈱オガール代表取締役

1972年岩手県紫波町出身。日本大学理工学部
土木工学科卒、東洋大学大学院経済学研究科公民
連携専攻修了。地域振興整備公団（現：都市再生
機構）入団後、建設省都市局都市政策課などで
地域再生業務に従事。現在はオガールプロジェ
クトの中核であるオガールプラザ㈱、㈱オガ
ール、オガールセンター㈱代表取締役として、
紫波町の公民連携事業を企画推進している。



講演者・パネリスト

内野安彦 氏

立教大学兼任講師

1979年に茨城県鹿島町役場（現鹿嶋市役
所）入所。図書館に異動の後、図書館長、
学校教育課長を経て2007年退職。同年、
長野県塩尻市役所入所。図書館長として
新図書館（えんぱーくの中核施設）の建設
を指揮。現在は、三大学で教鞭を執るとと
もに、FMラジオで図書館をテーマにした
番組のパーソナリティも務める。



コーディネーター

永田治樹

㈱未来の図書館 研究所 所長

名古屋大学附属図書館を始めに、国文学研
究資料館、東京大学・金沢大学・北海道大学
の図書館などに勤務後、1994年から筑波大
学図書館情報メディア研究科、立教大学文
学部等で教育・研究に携わる。専門領域は図
書館経営。ISO TC46/SC8の国内委員。
近著：永田治樹 編著、2016
『図書館制度・経営論』日本図書館協会

日時

2018年11月2日(金) 13:30-16:30

場所

日比谷図書文化館内（地下1階）日比谷コンベンション大ホール

受付

事前申込み制（定員になりしだい締切らせていただきます）

定員

200名

参加費

無料

お申込方法

下記アドレス宛のメールまたは未来の図書館 研究所 Web サイトの申込フォームよりお申込みください。

お問い合わせ

株式会社未来の図書館 研究所 info@miraitosyokan.jp Web サイト http://www.miraitosyokan.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-12 7階 TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395

シンポジウム終了後、17:00~19:00に、交流会を予定しております。（定員80名、参加費3,000円）

交流会参加希望者は、10月26日（金）までにシンポジウム参加申込みとあわせてお申込みください。

主催：



未来の図書館 研究所
The libraries of the future research, inc.

